

。

言者が遣わされた目的

私たちは、以下の原因によって 言者が遣わされた理由を めることができます。

1) 造物の崇 から、造主への崇 、すなわち 造物への 属から、彼らの主への崇 という自由と人 を くため。

2) この 造の目的を人 に して明 にするため: すなわち神を崇 し、その戒律を履行し、世での人生は各々に する であり、その とは死 にどういった人生を送るかを 定付けるものであること; そしてそれは永 なる苦痛、または永 なる至福の人生なのです。これ以外には 造の真の理由を理解する方法はありません。

3) 私たち人 に して へと く道を示すため、そして火 からの救 のため。

4) 人 への として 言者を遣わし、 判の日に された には言い逃れが出来ないようにするため。彼らはその 、 造の目的と死 の人生に し 知であったという言い が出来ません。

5) 通常の間 と宇宙を超えて存在する未知なる ‘世界’ や、神への知 、 天使の存在、そして 判の日の事 を明らかにする目的。

6) 人 に し、道 、正しさ、そして目的を伴った人生を 践するための模 を示す目的。人は本能的に他の人 を慕う性 があるため、人 にとって正しさの最善の模 は神の 使徒のものです。

7) 私たちの魂を物欲、罪、 着さから清めるため。

8) 世と来世における人 の福利ゆえに神の教えを するため。

彼らの教え

彼らの神の称 あれ) です。

人々は 言者に する 度な排斥を行いました。彼らは拒 され、魔 、狂人、ほら吹きなどと倒されました。一方ではイエスのように、神々に仕立て上げられ、神のような力を持つ、あるいは神の子であるとされるような者もいました。

しかし には彼らは人 であって、神のような性 や力は えていないのです。彼らは神を崇めるしもべに ぎませんでした。彼らは 食し、睡眠し、普通に人として暮らしていたのです。彼らには人々に彼らの教えを めさせる 制力や、罪を赦す特 な能力はありませんでした。また未来の予知能力は、 示された 内に限られていました。それに彼らには宇宙の 事を司る力もなかったのです。

言者は神の 限なる慈悲と 情によって人 に遣わされ、彼らは人々を最善の道へと きました。神は彼らを人 への模 としたのです。そして彼らに服 すれば神の意思に沿った人生を送ることになり、それにより神の慈しみと 悦を得ることになるのです。

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/index.php/jp/articles/37>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。